

2027年国際園芸博覧会に向けた植栽試験（第1回）

出品要項

2023年7月31日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会



EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

植栽試験の概要

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会（以下、「当協会」という。）は、2027年3月19日から9月26日にかけて横浜市・旧上瀬谷通信施設で開催予定の国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」に向けて、最新の植物材料（草本類・球根等）の情報収集や各植物の生育適性等を確認することを目的に行う植栽試験のための植物を公募します。

なお、本試験は、国際園芸博覧会の植物選定を目的としたものではなく、国際園芸博覧会の植栽設計の参考にするために実施するものです。

◆ 名称

2027年国際園芸博覧会に向けた植栽試験（第1回）

◆ 主催者

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
植物部 植物課（担当：山中、児玉、磯部）

◆ 場所

日本大学生物資源科学部内圃場（神奈川県藤沢市亀井野1866）

※使用圃場は非公開のため、大学へ直接連絡する行為や、大学敷地内への立ち入りはご遠慮ください。

◆ 募集予定数

1回の審査につき150件程度

※審査の詳細については4ページをご参照ください。

※申込数が予定区画数を上回るとき、もしくは公募対象に当てはまらない場合、募集締切後に申込をお断りする可能性があります。

◆ 公募対象

2027年に向けた新品種や注目品種、環境耐性が優れている植物を公募し、各植物の開花・生育状況を審査します。公募に際しては、以下の4つの部門に分類します。

① 花壇苗 ② 宿根草・グランドカバー ③ 球根 ④ その他（ハーブ、野菜、つる植物等）

※樹木の出品は想定していません。

◆ 出品者資格

出品者は、種苗メーカーや国、地方公共団体、育種家、学校等から公募し、以下のいずれかに該当する方を対象とします。

- ・当該品種を育成開発した者
- ・当該品種の育成者権を有する者
- ・前二者のどちらかとの契約により日本における販売代理権を有する者
- ・その他（当協会が認めた出品者）

※当協会より要請があった場合、上記の資格を有することを証明する書類の提出にご協力ください。

◆ 出品料

無料

※花苗等の植物材料および配送料は、出品者負担とします。

◆ 出品物の納品

(1) 納品方法

直接持参 または 宅配

※乾燥等に配慮した梱包をお願いします。

(2) 納品期間

各植付日の4日前～前日

※具体的な日付は、当協会より後日連絡いたします。

(3) 納品場所

当協会が指定する場所

※具体的な場所は、当協会より後日連絡いたします。

(4) 納品数量

出品いただく全ての植物に、管理頻度の異なる2つの維持管理区画が割り当てられます。
2区画の相当数に予備を含めた株数をご納品ください。

(例) 1区画あたり36株×2試験区=72株+予備苗

※2区画の管理頻度については3ページをご参照ください。

※1区画あたり1㎡を想定しています。

※一年草の場合、植栽株数36～49株/㎡を想定しています。

※供試された植物材料は、植栽試験終了後、当協会にて適切に処分します。

◆ 本試験によって期待される効果

本試験によって、以下のような効果が期待されます。

- ・本博覧会の植物選定へのアピール
- ・出品植物の試験データのフィードバックによる植物材料の商品価値の向上
- ・本試験を活用した新品種・有用品種等の認知度拡大

植栽管理について

◆ 日常管理

出品いただく全ての植物に、管理頻度の異なる2つの維持管理区画（A試験区・B試験区）が割り当てられます。それぞれの管理頻度は以下の通りです。

本試験の管理基準は、本博覧会開催時の植物維持管理を検討するために設定しています。

なお、植物の植付および日常管理は、連携先大学が実施します。

日常管理項目		A試験区	B試験区
灌水	3月下旬～6月中旬	3日に1回程度	7日に1回程度
	6月中旬～9月下旬	2日に1回程度	5日に1回程度
除草・花がら摘み		隔週1回（ひと月に2回）	14～21日に1回程度
追肥・病害虫防除		なし	なし

※1区画あたり1㎡を想定しています。

※区画割は当協会決定します。

※点滴チューブによる灌水を想定しています。

※元肥は緩効性肥料（窒素分として12g/㎡程度）を想定しています。

◆ 植物の生育状況の把握

連携先大学において、植物の開花や生育状況、変化などの記録を以下の頻度で行います。

- (1) 巡視点検：週2～3回程度
- (2) 記録写真：隔週1回（ひと月に2回程度）
- (3) 夜間開花記録：審査日の数日前に1回



審査について

◆ 審査方式

申込書に記載していただく基礎情報の確認による”事前審査①”、生育記録資料の確認による”事前審査②”、圃場において審査員による評価を行う”現地審査”の3段階審査を行い、総合的に評価します。



※各出品物の評価結果については、審査後、メールにて個別にご報告いたします。

◆ 審査の視点

応募される出品物（植物）の審査に対しては、園芸博のコンテンツとなりうる植物や話題性のある植物を発掘し、園芸博を通じて園芸産業の発展・PRにつなげることを目的とします。

審査に関しては、観賞性、生育性、話題性、供給性、省管理性の視点で評価を行います。

観賞性	草姿、草丈、株張り、開花時期、開花期間、花・葉の観賞性、芳香性 など
生育性	耐病害虫性、耐寒性（耐霜性）、耐暑性、耐乾性、耐湿性 など
話題性	新奇性、夜間開花性 など
供給性	供給量、流通性、価格性 など
省管理性	灌水頻度、セルフクリーニング性、植栽密度 など

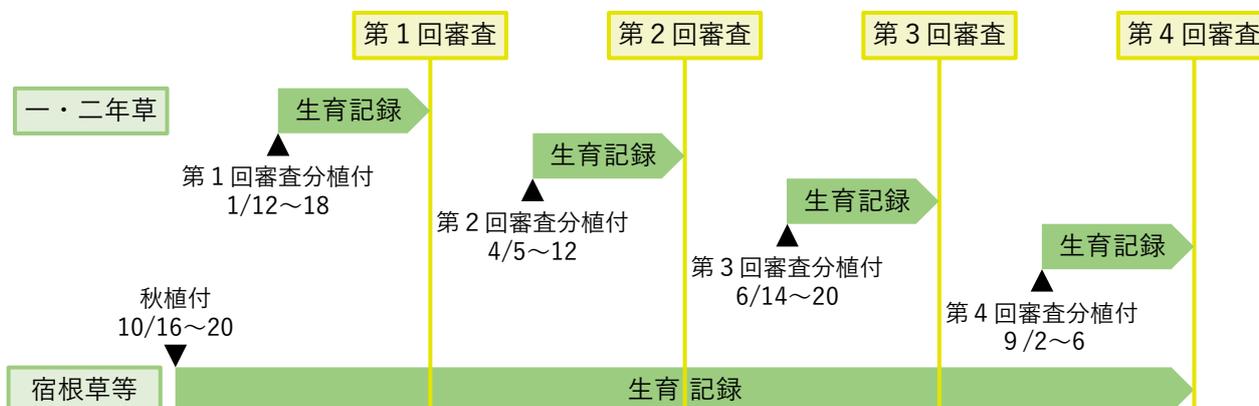
◆ 現地審査

審査員による現地審査は、以下の通り計4回実施します。

- ・第1回審査：博覧会開幕時の植物を対象とした審査
- ・第2回審査：春植物を対象とした審査
- ・第3回審査：夏植物を対象とした審査
- ・第4回審査：博覧会閉幕時の植物を対象とした審査

※どの審査に出品するかは出品者が選択し、連続した複数の審査に同品種を出品することも可とします。

※宿根草・つる植物の場合、第1回審査～第4回審査を通した通期の審査となります。



スケジュール

◆ 募集期間

- ・ 募集開始：2023年7月31日
- ・ 募集〆切：2023年8月31日
- ・ 追加募集：2023年9月以降

※申込数が予定区画数を上回るとき、もしくは公募対象に当てはまらない場合、募集締切後に申込をお断りする可能性があります。

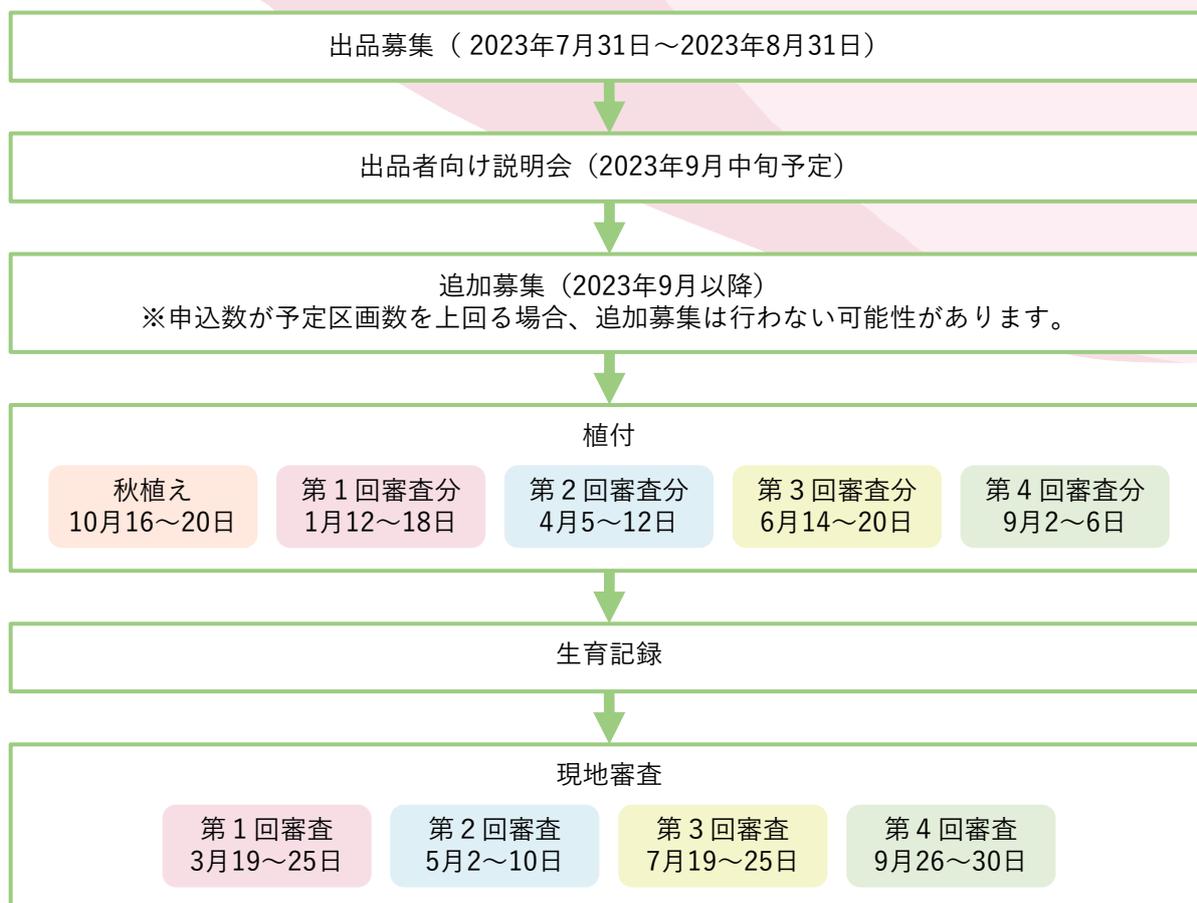
※申込数が予定区画数を上回る場合、追加募集は行わない可能性があります。

◆ 植付予定日

- ・ 秋植え：10月16～20日
- ・ 第1回審査分：1月12～18日
- ・ 第2回審査分：4月5～12日
- ・ 第3回審査分：6月14～20日
- ・ 第4回審査分：9月2～6日

◆ 現地審査予定日

- ・ 第1回審査：3月19日（予備日）3月21～25日
- ・ 第2回審査：5月2日（予備日）5月7～10日
- ・ 第3回審査：7月19日（予備日）7月22～25日
- ・ 第4回審査：9月26日（予備日）9月27～30日



申込方法

◆ 申込方法

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会ホームページより申込書をダウンロードいただき、必ず本要項をお読みいただいた上で、申込書を以下の宛先までお送りください。

【宛先】公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 植物部 植物課 植栽試験担当

【メールアドレス】syokusaishiken@expo2027yokohama.or.jp

※メールの件名は、【申込：2027年国際園芸博覧会に向けた植栽試験（第1回）】としてください。

◆ お問い合わせ

【メールアドレス】syokusaishiken@expo2027yokohama.or.jp

【電話番号】045-307-2058（9時～17時、土・日・祝日を除く）

※お問い合わせ内容を正確に把握させていただくために、出来るだけメールでお問い合わせいただきますようお願いいたします。

※メールの件名は、【お問い合わせ：2027年国際園芸博覧会に向けた植栽試験（第1回）】としてください。

（参考）本植栽試験の全体像

本植栽試験は、全3回行うことを想定しています。

今年度行われる植栽試験（第1回）と、来年度に予定されている植栽試験（第2回）は、博覧会予定地外で行う「会場外試験」となっており、再来年度に予定されている植栽試験（第3回）は、実際に博覧会予定地である旧上瀬谷通信施設で行う「会場内試験」となっています。

第1回 植栽試験
【会場外試験】
第1回公募植栽
公募期間
2023.7～
試験期間
2024.3～2024.9

第2回 植栽試験
【会場外試験】
第2回公募植栽
公募期間
2024.7～（未定）
試験期間
2025.3～2025.9

第3回 植栽試験
【会場内試験】
1年前プレ植栽
公募期間
2025.7～（未定）
試験期間
2026.3～2026.9